

大塚地区保育園設計業務プロポーザル 一次審査に対する審査委員からのコメント

1 評価したポイントについて

- ・ 既成の概念にとらわれないチャレンジングな提案を評価した。
- ・ こどもの成育環境としてふさわしいかどうか、特に、方位（採光と日陰）、風通し、活動に適した空間（おおぜい／ひとり、動的／静的、広い／狭い）等に着目し、評価した。
- ・ 敷地の特徴を活かして全体を有効に使い切る無理のない配置計画、積極的に地域に開く提案など、ここ大塚だからこそその提案を評価した。

2 提案書から読み取る事が難しかった点

（注：二次審査において、一次審査の提案内容と違う内容を新たに提案したり、全く記載のない内容を提案したりすることはできません。）

- ・ 園児の上足下足の履き替えや運用方法について
- ・ 工事費を予算内に収める工夫について
- ・ 建物の架構システムの具体的な説明
- ・ 朝夕の送迎での混雑時における駐車場の運用方法について
- ・ 提案する新園舎で行われる教育的な特色について
- ・ 上記を実装するにあたっての保育士等との合意形成方法について

3 全体に対する感想について

- ・ 今回の大塚地区保育園設計業務プロポーザルでの取り組みのように、保育園児と若手建築家が共に育っていく機会が、今後他の自治体にも広がることを望む。
- ・ 二次審査では質疑応答を通じて、蒲郡大塚の保育園のコンセプトが新たに発見されることを期待したい。